# 社会資本総合整備計画　　社会資本整備総合交付金

令和06年08月09日

| | | | |
|---|---|---|---|
| 計画の名称 | 堺市における歴史・文化を活かした魅力あふれる百舌鳥古墳群周辺の整備 | | |
| 計画の期間 | 令和０４年度　～　令和０７年度　(4年間) | 重点配分対象の該当 | ○ |
| 交付対象 | 堺市 | | |
| 計画の目標 | 本市においては、定住性の高いゆとりある快適なまちづくりをめざして、現在まで、都市の安全性・健康性・利便性などの確保に向けた都市基盤整備を行ってきたが、防災施設の整備、地域固有の歴史・文化資源を観光資源としてより有効に活用するための環境整備など、未だ不十分な状態であり、今後も継続的に整備を推進していく必要がある。令和元年7月に世界遺産登録された百舌鳥古墳群に隣接する本市のシンボルパークである大仙公園について、「大仙公園基本計画」に基づき、世界遺産の拠点に相応しい緑が豊かで古墳を活かした公園として整備を行う。 | | |

| 全体事業費（百万円） | 合計（A＋B＋C＋D） | 845 | A | 845 | B | 0 | C | 0 | D | 0 | 効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D） | 0 | % |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

| 番号 | 計画の成果目標（定量的指標） | | | |
|---|---|---|---|---|
| | 定量的指標の定義及び算定式 | 定量的指標の現況値及び目標値 | | |
| | | 当初現況値 | 中間目標値 | 最終目標値 |
| | | R4当初 | | R7末 |
| 1 | 一人あたり都市公園面積：8.86㎡/人（R4当初）→9.17㎡/人（R7末） | | | |
| | 一人あたり都市公園面積（㎡/人）<br>一人あたり都市公園面積（㎡/人）　＝　堺市内の既開設都市公園面積（㎡）　/　堺市の人口（人） | 8㎡/人 | ㎡/人 | 9㎡/人 |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

| 備考等 | 個別施設計画を含む | － | 国土強靱化を含む | － | 定住自立圏を含む | － | 連携中枢都市圏を含む | － | 流域水循環計画を含む | － | 地域再生計画を含む | － |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | | | | |



案件番号：　0000688925

A 基幹事業

| 基幹事業（大） | 番号 | 事業種別 | 地域種別 | 交付対象 | 直接間接 | 事業者 | 種別１ | 種別２ | 要素となる事業名（事業箇所） | 事業内容（延長・面積等） | 市区町村名／港湾・地区名 | 事業実施期間（年度） R04 | R05 | R06 | R07 | R08 | 全体事業費（百万円） | 費用便益比 | 個別施設計画策定状況 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 一体的に実施することにより期待される効果 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 備考 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 都市公園・緑地等事業 | A12-001 | 公園 | 一般 | 堺市 | 直接 | 堺市 | － | － | 都市公園事業（大仙公園） | 用地取得、実施設計、施設整備 | 堺市 | ■ | ■ | ■ | ■ | | 845 | 1.86 | － |
| | | | | | | | | | | | 小計 | | | | | | 845 | | |
| | | | | | | | | | | | 合計 | | | | | | 845 | | |



案件番号： 0000688925

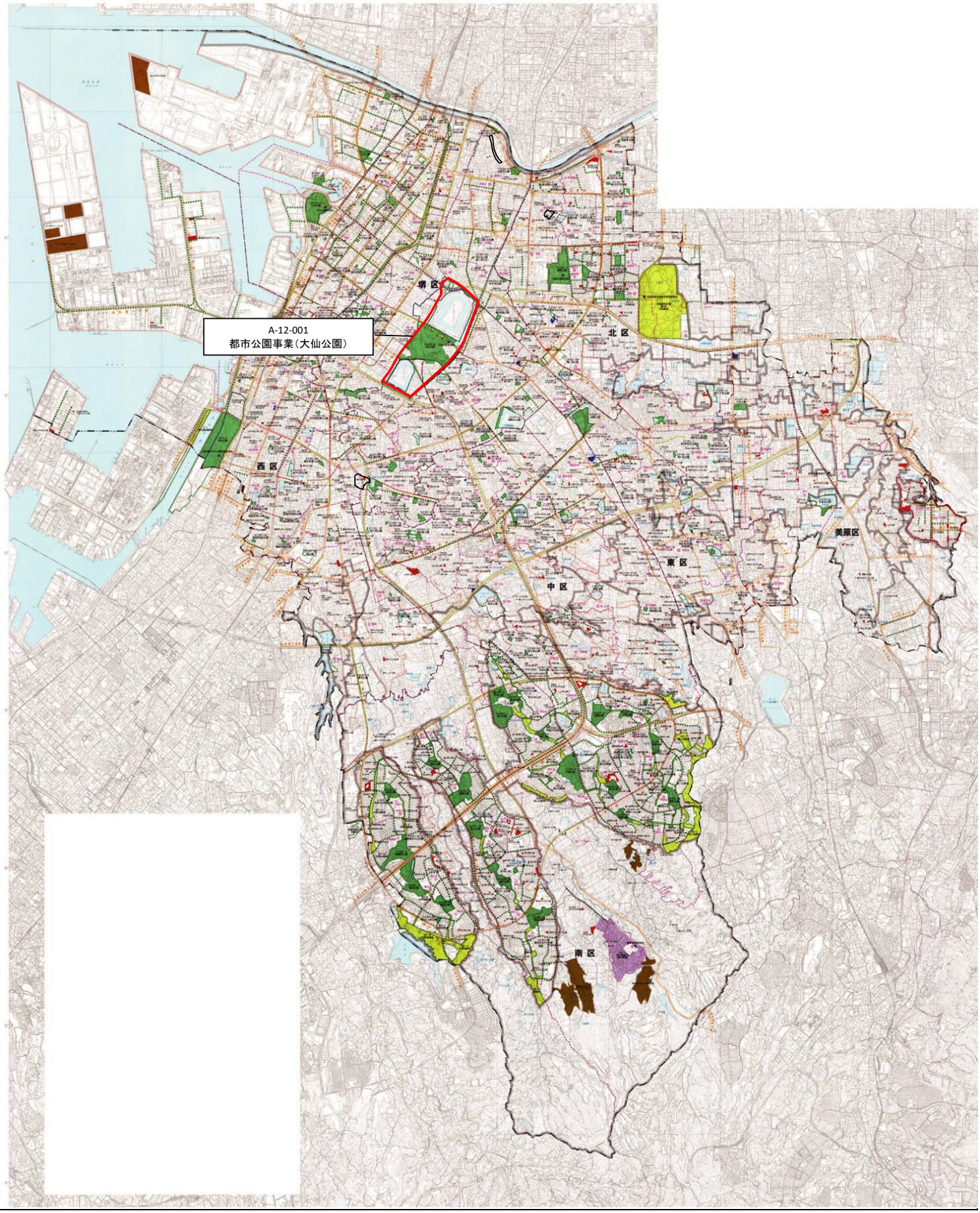
交付金の執行状況

（単位：百万円）

| | R04 | R05 | R06 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 配分額（a） | 18 | 0 | 0 | | |
| 計画別流用増△減額（b） | 37 | 0 | 0 | | |
| 交付額（c=a+b） | 55 | 0 | 0 | | |
| 前年度からの繰越額（d） | 0 | 0 | 0 | | |
| 支払済額（e） | 55 | 0 | 0 | | |
| 翌年度繰越額（f） | 0 | 0 | 0 | | |
| うち未契約繰越額(g) | 0 | 0 | 0 | | |
| 不用額（h = c+d-e-f） | 0 | 0 | 0 | | |
| 未契約繰越率+不用率（i = (g+h)/(c+d))% | 0 | 0 | 0 | | |
| 未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由 | | | | | |

（参考図面）

| 計画の名称 | 堺市における歴史・文化を活かした魅力あふれる百舌鳥古墳群周辺の整備 | | |
|---|---|---|---|
| 計画の期間 | 令和4年度　～　令和7年度　（4年間） | 交付対象 | 堺市 |



# 事前評価チェックシート

計画の名称： 堺市における歴史・文化を活かした魅力あふれる百舌鳥古墳群周辺の整備

| 事　前　評　価 | チェック欄 |
|---|---|
| I.　目標の妥当性<br>①上位計画等との整合性　１）上位計画等と整合性が確保されている。（上位計画名：堺市基本計画2025、堺市SDGs未来都市計画　等） | ○ |
| I.　目標の妥当性<br>①上位計画等との整合性　２）関連する各種計画と整合性が確保されている。（関連計画名：緑の基本計画、都市計画マスタープラン、地域防災計画　等） | ○ |
| I.　目標の妥当性<br>②地域の課題への対応（地域の課題と整備計画の目標の適合性）　１）本市の課題を踏まえた目標となっている。 | ○ |
| I.　目標の妥当性<br>②地域の課題への対応（地域の課題と整備計画の目標の適合性）　２）本市のまちづくりに必要な施策に位置づけられている。 | ○ |
| II.　計画の効果・効率性<br>③整備計画の目標と定量的指標の整合性　１）計画の目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。 | ○ |
| II.　計画の効果・効率性<br>④定量的指標の明瞭性　１）定量的指標は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。 | ○ |
| II.　計画の効果・効率性<br>④定量的指標の明瞭性　２）定量的指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。 | ○ |
| II.　計画の効果・効率性<br>⑤目標と事業内容の整合性　１）計画の目標と事業内容の整合性が確保されている。 | ○ |
| II.　計画の効果・効率性<br>⑤目標と事業内容の整合性　２）指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。 | ○ |
| II.　計画の効果・効率性<br>⑥事業の効果(要素事業の相乗効果等）の見込みの妥当性　１）十分な事業効果が確認・期待されている。 | ○ |
| II.　計画の効果・効率性<br>⑥事業の効果(要素事業の相乗効果等）の見込みの妥当性　２）事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。 | ○ |
| III. 計画の実現可能性<br>⑦円滑な事業執行の環境（事業塾度、住民等の合意形成を踏まえた事業実施の確実性）　１）計画の具体性など、事業の熟度が高い。 | ○ |
| III. 計画の実現可能性<br>⑦円滑な事業執行の環境（事業塾度、住民等の合意形成を踏まえた事業実施の確実性）　２）計画について住民や民間事業者等との間で合意が形成されている。 | ○ |
| III. 計画の実現可能性<br>⑧地元の機運（住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性）　１）住民等から事業実施についての要望がある。 | ○ |
| III. 計画の実現可能性<br>⑧地元の機運（住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性）　２）計画について住民・民間事業者等の多様な主体との連携が図られている。 | ○ |



案件番号：0000688925